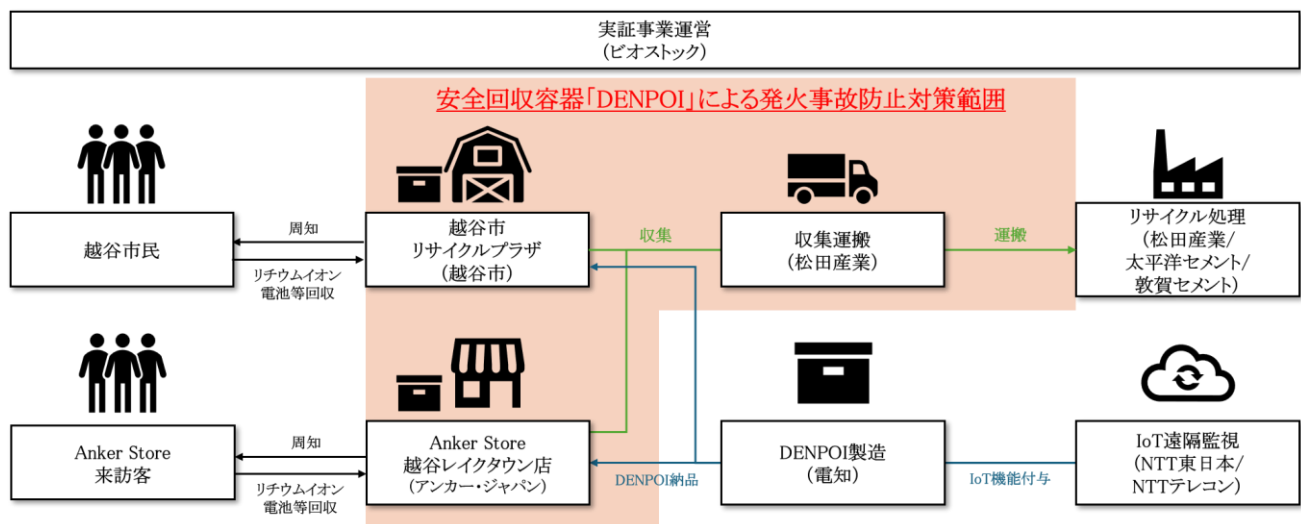


官民連携によるリチウムイオン電池等による火災事故防止に向けた 安全な回収体制構築の実証事業を開始

松田産業株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：松田芳明、以下「当社」）は、越谷市、アンカー・ジャパン株式会社、株式会社電知、株式会社ビオストック、NTT テレコン株式会社と連携し、リチウムイオン電池の安全な回収体制の構築に向け、環境省が実施する「リチウムイオン電池等の製造・販売事業者等と連携した回収体制構築実証事業※1」に採択されたため、官民連携での実証事業を開始します。本実証では、越谷市リサイクルプラザおよび Anker Store 越谷レイクタウンの 2 拠点に安全回収容器「DENPOI」を設置し、家庭等から排出されるリチウムイオン電池の安全な回収・収集運搬・処理に関する有用性を検証します。本実証を通じて、適切な分別排出を促進するとともに、本実証を通じて、適切な分別排出の促進や安全な回収体制の構築に向けた知見の取得をめざします。



<実証に取り組む経緯>

近年、モバイルバッテリーや小型電子機器など、リチウムイオン電池を使用した製品の普及に伴い、廃棄物処理施設や収集運搬車両などにおける発煙・発火事故が全国的な課題となっています。家庭から排出されるリチウムイオン電池使用製品の増加が見込まれる一方で、適切な分別排出の周知や安全な回収体制の整備は十分とはいえず、多くの自治体に対応に苦慮しています。

そこで本実証では、自治体、製造・販売事業者、回収・リサイクル事業者および技術提供事業者が連携し、回収拠点から収集運搬、処理に至るまでの安全性向上を図るとともに、住民への効果的な周知・啓発手法を実証します。

本実証では、当社がこれまで培ってきたリチウムイオン電池のリサイクル技術を活かし、店舗回収されたリチウムイオン電池使用製品の安全な収集運搬および再資源化の役割を担います。

本取り組みを通じて、企業理念である「限りある地球資源を有効活用し、業を通じて社会へ貢献」を続けて参ります。

<実証概要>

事業名	リチウムイオン電池等の製造・販売事業者等と連携した回収体制構築実証事業
実施予定期間	2026 年 10 月～11 月
回収拠点	・越谷市リサイクルプラザ（住所：埼玉県越谷市砂原 355 番地） ・Anker Store 越谷レイクタウン（住所：埼玉県越谷市レイクタウン 4-2-2 イオンレイクタウン kaze 3F）
回収対象	リチウムイオン電池を使用した製品
回収範囲	越谷市リサイクルプラザ：膨張品リチウムイオン電池を使用した製品（メーカー問わず） Anker Store 越谷レイクタウン：モバイルバッテリー・イヤフォン、電子タバコ（他社製品含む。膨張品も対象）
主な検証内容	安全回収容器「DENPOI」を活用した安全な回収・運搬の有用性、住民周知の効果、回収拠点利用状況、処理・再資源化ルート等

<実施内容>

本実証は、越谷市リサイクルプラザおよび Anker Store 越谷レイクタウンを回収拠点として実施します。回収対象は、メーカーを問わずリチウムイオン電池を使用した製品で、越谷市リサイクルプラザでは市民が持参する製品を、Anker Store 越谷レイクタウンでは来店者が持参する製品を回収します。

回収した製品は、安全回収容器「DENPOI」を活用して収集運搬・保管・リサイクル処理を行い、回収から処理までの安全性や運用面での有用性を検証するとともに、住民・利用者への周知施策の効果や回収拠点の利用状況、再資源化ルートの有効性などを検証します。

実証期間は 2026 年 10 月から 11 月までの約 2 か月間を予定しています。

※1 環境省「令和 8 年度リチウムイオン電池等の回収・処理体制の構築等に向けた実証事業の公募結果について」
https://www.env.go.jp/press/press_05415.html

<参画企業の主な役割>

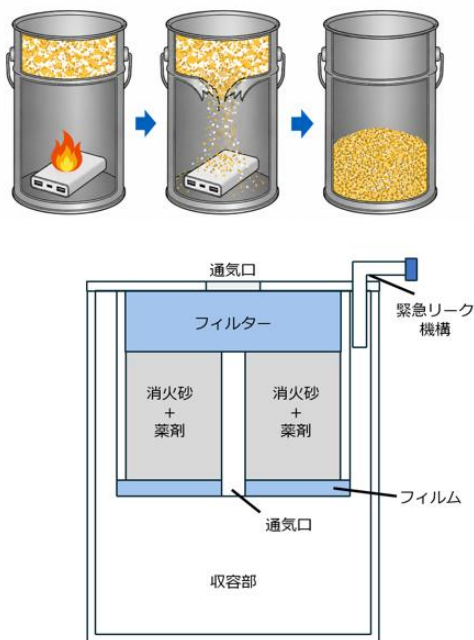
越谷市	越谷市リサイクルプラザでの回収、市の広報媒体を活用した市民周知
アンカー・ジャパン株式会社	Anker Store 越谷レイクタウンでの回収、アプリ・SNS 等を活用した周知
当社	リチウムイオン電池の収集運搬・保管、リサイクル処理 （太平洋セメント(株)・敦賀セメント(株)と共同実施）
株式会社電知	安全回収容器「DENPOI」の製造・納品
株式会社ビオストック	実証全体の工程管理、予算管理、効果検証、成果品作成
NTT テレコン株式会社	DENPOI に対する IoT 機能付与の各種検討

<安全回収容器「DENPOI」とは>

「DENPOI」とは、株式会社電知が開発した、砂の消火・断熱効果を活用したリチウムイオン電池専用の回収・保管容器です。万が一、電池が発火した際には消火用の砂と薬剤が落下し、電池を砂で覆う構造により、万一の発火・熱暴走時にも延焼や周囲への被害を抑えながら、安全に一時保管することができます。特別な電源や大掛かりな設備を必要とせず、公共施設・店舗・事業所などに手軽に設置できる点が特長です。

また、NTTテレコンの通信端末「グッとびくん M2」を利用した集中監視システム「テレコンスマートサービス 24」を活用して、DENPOI の消火用の砂と薬剤が落下した際に無人通知が可能になります。今般、安全な回収を行う手段として、遠隔監視機能の実用性の検証を行います。

(DENPOI の利用イメージ)



3つの特徴



熱で自動的に砂が落下し、安全に鎮火

環境温度80～90℃で砂が落下。延焼が大きくなる前に対応します。



砂で継続的に覆い続ける

連続発火や再発火を防ぎます。



ガスをフィルターを通して外へ逃がす

有毒成分もフィルターで捕捉し、被害の拡大を防ぎます。

(NTTテレコンの「グッとびくん M2」および「テレコンスマートサービス 24」の活用イメージ)

暑いところでも利用可能。
各種センサと組み合わせ、
24時間365日遠隔監視

DENPOIに設置し、消火砂が
落ちたタイミングで遠隔通知



<今後の展開>

実証終了後は、回収拠点から処理場までの各工程における発火事故防止対策の継続的な運用をめざします。また、製造・販売事業者との連携拡大や、他自治体への展開についても検討を進めてまいります。

本実証で得られた知見を活用し、リチウムイオン電池を使用した製品の適切な分別排出を促進するとともに、回収・運搬・処理の各工程における安全性向上を図り、持続可能な資源循環体制の構築に貢献してまいります。

<本件に関する問合せ先>

■リチウムイオン電池の収集運搬・保管、リサイクル処理に関するお問い合わせ先
松田産業株式会社 環境ソリューション事業部 ソリューション営業部
TEL : 03-5909-5106

■当実証事業に関するお問い合わせ先

株式会社ビオストック 事業開発部
E-mail : info@biostock.co.jp
